



2025 11/2(日) 3(月・祝) 4(火)

バザー & 喫茶

10:00~15:00

北地区社会福祉協議会



【喫茶 販売】
飲み物とお菓子
300円(税込み)
テイクアウトのみ

北地区社会福祉協議会 (つくし野郵便局2F)



【編集後記】
広報調査部会新委員で作成しました。初めて体験するので始動が遅くなり押し押しとなりました。記事を担当した皆様に感謝します。次号は2月号を予定しています。スケジュールに沿って魅力ある紙面にするべく活動します。よろしくお祈いします。(TH)

バザー品提供のご協力をお願いいたします。

募集期間：10月1日(水)~24日(金)
受付場所：北地区社協事務所 7165-3434
受付時間：9:00~16:00(平日)

募集内容
ご家庭で不要になった下記の品物をご厚志によりご提供ください。
・新品の衣類・下着・靴・タオル・寝具
・賞味期限内の食料品・調味料など(生もの以外)
・コミック本・ゲームソフト・DVD など
・食器・陶器類・文房具など
ひきとれないもの：汚れ・破損・変色したもの。生もの。
終了後残ったものは処分させていただきます。
バザーの収益金は福祉事業活動費として使用されます。

クイズ ~頭の体操~
人間のからだを知ろう!

(1)大人の全身の血管の長さは何メートルか?
(2)体重60Kgの大人の血液は何リットルありますか?
(3)血液は何でできていますか?

答えはどこかにあるよ 探してみてね!

あびこ 北地区社協だより

~布施・久寺家・つくし野・並木・我孫子・根戸~

No.79
2025.10.1 発行
発行責任者
我孫子北地区社会福祉協議会
編集・制作 広報調査部会

今号のトピック



【我孫子市市政施行 55周年記念マンホール】
我孫子市は、今年で市制施行55年を迎えます。市制施行55周年記念のロゴマークをもとにした消火栓用鉄蓋が市内に10か所設置されています。どこにあるか探してみれば？

会長の挨拶



“偶然と 思えることにも 理由(わけ)がある”

先日、ちょっと重い荷物を車に積んでいるとき、小学4年生ぐらいの男の子が通りかかりました。その男の子は「お手伝いしますよ！」と声をかけてきたのです。私は「いいよ、大丈夫！」と断ったのですが、その男の子はそんな私の言葉にかまわず荷物を車に運び込むのを手伝ってくれたのです。こんなにいい子がいるなんて！感動でした。親の顔が見たい！(笑) これは偶然の出会いです。今まで、そんな偶然の出会いは何回もあつたのだろうか？この北地区社協との出会いも偶然。そして、多くの知人・仲間との出会いも偶然。しかし、ただの偶然だけではないような気がします。偶然が必然であったのかもしれない。ニュートンはリンゴの木の下で、アルキメデスはお風呂で偶然に法則を発見しました。でも、その偶然はただ待っているだけではやってこない。日々のたゆまぬ努力・意識の実践があつたから。私共北地区社協では、様々なイベントを開催しております。気が向いたら参加して偶然の出会いを楽しんでください。幸運の偶然の神様は、あなたのすぐ隣にいるかもしれませんよ。(笑)

お知らせ

北地区社協は皆さんからの記事を募集中！
自治会情報、サークル情報、地域のイベントなど載せてみませんか？
あびこ北地区社協だよりは布施・久寺家・つくし野・並木・我孫子・根戸の全11,500世帯に配布されています。2月、6月、10月の年3回の発行です。

赤い羽根共同募金協力をお願い



掲載記事

- ・今号のトピック
- ・河童のへの丸日記
- ・小学1年生と昔あそびの会、電話訪問サービス募集
- ・取材てくてくきたちゃん
- ・北地区社協活動報告
- ・会長の挨拶
- ・令和7年度 北地区社協活動予定
- ・応援します！地域活動
- ・自治会あれこれ
- ・バザー & 喫茶のお知らせ

河童のへの丸日記 後藤ゆうた

登場人物
北川あび子 への丸

第13話 秋の味覚

我孫子北地区社会福祉協議会 我孫子市つくし野 3-22-2-204
我孫子ビレジショッピングセンター2F
TEL・FAX:04-7165-3434 e-mail:kita@abiko-shakyo.com
9時~12時、13時~16時

令和7年度 北地区社協活動予定

- 並木小1年生と昔遊びの会 10月24日(金) 並木小学校体育館
- 北部地域文化祭 バザーと喫茶 11月2日(日)～4日(火)
- 根戸小1年生と昔遊びの会 11月10日(月) 根戸小学校体育館
- 久寺家中1年生の福祉体験 12月3日(水)～5日(金) 久寺家中体育館
- 子育てサロン「わ」 毎月第3火曜(10:00) 北近隣センター並木本館
- サロン・アントレド 毎月第3木曜(13:30) 北地区社協事務所
- コミュニティサロン“きた” 毎月第2水曜(14:00) 第4月曜(10:00) つくし野コミュニティホール



消しゴムはんこ
松本守正

取材 てくてく きたちゃん

一般財団法人 電力中央研究所

電力中央研究所は、電力インフラの信頼性、安全性、環境調和を高める技術の開発と、脱炭素社会を支える次世代エネルギー研究に取り組む重要な国際的シンクタンクの一つとされています。

環境と安全を研究する部門として、国道6号線をまたぐ緑豊かな広大な敷地内に我孫子研究所には様々な環境変化、地震、津波などをシミュレーションし、複合自然災害を想定したリスク評価を行う大型の実験設備が配備されています。その成果の一例として津波の遡上による沿岸災害メカニズム(レンズ効果)の解明のほか、環境を保全しながらエネルギーの持続的な地域への供給を行うための様々な課題の科学的解明、技術的解決手段を公開し、国際的にも高く評価されています。

【電力中央研究所 我孫子地区】

- ・サステナブルシステム研究本部、我孫子運営センター、調達センターの3つからなる自然・環境科学研究拠点。
- ・人員：260人(研究241人、事務19人) 研究支援、管理31人を含む【2023年8月現在】・敷地面積：17万㎡
- ・1957年「農電研究所」を我孫子市に設置。2021年「サステナブルシステム研究本部」を設置。

【電力中央研究所パンフレットより】

北地区社協活動の参加者・利用者募集

・小学1年生との昔あそびの会

小学1年生と昔あそびを通じて交流を深める会です。小学校の体育館で童心にかえり、楽しいひと時を過ごしませんか？

- 並木小 10月24日(金) 受付開始 9:30
- 根戸小 11月10日(月) 受付開始 9:15

内容：折り紙、あやとり、お手玉、けん玉、メンコ、コマなど

【お申し込み：北地区社協 04-7165-3434】



・電話訪問サービス



独居の高齢者や身体の不自由な方で、電話訪問を希望される方は常時募集しています。お試しの利用も大丈夫です！ご家族からの申込も可能ですので、お気軽にご連絡ください。【問合せ先：北地区社協 04-7165-3434】



自治会 あれこれ

並木9丁目自治会/ご近所サポーター制度

2024年度の防災課題は、能登半島地震の発生を契機として、災害弱者である要配慮者対策の検討を進めてきました。人命救助に大きな力になる「近助」の取り組みとして、災害時に支援を必要とする方(要配慮者)、協力いただける方(ご近所サポーター)の募集を全世帯に行いました。結果、要配慮者18名、ご近所サポーター26名が登録されました。原則、ご近所サポーターは要配慮者1名ごとの選任担当となり、災害時の情報提供、安否確認及び避難等の支援を行います。挨拶や声かけなど要配慮者と顔見知りになることで、いざというときに効果的な支援が期待できます。孤独死などの防止に役立つのではないのでしょうか。具体的には、要配慮者宅の「部屋の点消灯」「カーテンの開閉」「洗濯物干し/取り入れ」「郵便ポスト」などの生活サインを確認する見守り活動を行っています。また、ご近所サポーター制度の強化のため出前講座(ハザードマップについて)の受講や交流会などを開催しています。なお、今年6月、ご近所サポーターの連携で、自宅で倒れていた高齢者を救出、医療機関へ搬送することで未然に孤独死を防ぐことができました。

応援します！地域活動

根戸小学校 学校紹介



今年度我孫子第二小学校より根戸小学校に着任した

校長の蒲野 毅(がまの たけし)です。皆様よろしくお願いいたします！

本校は現在児童数が約650名、1～4年生が3学級ずつ、5・6年生が4学級ずつ、特別支援学級が知的学級3、情緒学級5の合計28学級で、市内13小学校中3番目の規模で、今年で創立50周年を迎えます。

学校の合言葉を「笑顔でチャレンジ」とし、「やってみなければわからない」、「体験こそ全ての礎(いしづえ)」の言葉通り、できる限り体験学習を取り入れることで、学校教育目標である「よく遊びよく学ぶ 思いやりのある子」を育てていきます。そのために、様々な教育活動において児童一人ひとりが活躍できるよう、場の設定を工夫しています。将来、子どもたちには何事にも挑戦する子に育ってほしい！教職員も一丸となって指導と支援をしていきます！地域の皆様のご理解とご協力を今後もよろしくお願いいたします！



根戸小キャラクター『ねどっピー』

北地区社協 活動報告

令和7年度北地区社協委員バス研修

恋する豚研究所・「福祉楽団」訪問 7月2日(水) 27名参加で実施。

- ・恋する豚研究所は、企業の残渣(食パンの耳等)を発酵させた餌にこだわり、環境に配慮し科学的に安全で美味しい豚を育てている。デパート等に出荷するとともに自前のレストランで美味しい豚料理を提供している。
- ・働いている人の半数が障がいや働きづらさを抱えた人達で、就労支援施設となっている。地域に必要な高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者などに対する福祉を展開し、さまざまな人がその人らしく共生してゆく社会の実現を目指している。